

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団 体 名	子育て支援ワーカーズ びすけっと			
事 業 名	あそびで笑顔のまちづくり「みんなあつまれ♪」			
実 施 期 間	平成29年2月26日(日)10:30~15:00			
事業の目的及び期待する効果	ぬくもりのある手作りの木のおもちゃ、知育玩具、昔あそびなどで市民や観光客がゆったりと自由に遊べる場を設ける。また小さな子どもから高齢者の方まで、楽しい時間を過ごしてもらえよう、工作や遊びのコーナーを設置する。 笑顔で心豊かに見守りささえ合う地域となる事を目的とする。 小樽のまちが世代をこえて関わりを持ち、つながりを深めていくことで子育てしやすいまちになると期待する。			
実 施 額	事業費	140,378 円	助成額	120,280 円
事 業 内 容	★屋外での行動が制限されるこの時期に子育て中の親子に限らず市民や観光客などにも参加してもらえるよう小樽駅周辺の公共交通機関で来場しやすく参加しやすい場所として体育館のような広いスペースの運河プラザでイベントを開催する。 ・市民や学生にボランティアとして開催当日関わってもらおう市民参加型。 ・手作りのおもちゃをたくさん作り展示する。ゆずってほしいというお客さまに“募金”という形でおゆずりする。 ・若い世代、子どもへ昔あそびの楽しさとすばらしさを伝える。 ・小学校高学年の子どもたちにも楽しんでもらえるように工作の講師を招く。 ・当会スタッフ（英語講師）による英語でのお楽しみタイムを設ける。 ・すべり台やトランポリンなど、体を動かして遊ぶ遊具を設置する。			

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
2017年2月26日	多種のおもちゃで自由遊び	150人	229人
	84世帯 内訳(市内74世帯 市外3世帯 海外7世帯)		
	大人119人 内訳(市内105人 市外4人 海外10人)		
	子ども110人 内訳(市内96人 市外2人 海外12人)		

※受付用紙に未記入で入場した大人の来場者が何人かいましたが、強制ではない為人数に入っていません。

◎事業評価について

<p>1. 事業の目的の達成度</p> <p>木製おもちゃのコーナー、ままごとコーナー、お絵かきコーナー、軽運動コーナー、昔あそびのコーナーなど、ボランティア団体「杜のつどい」と「小樽商大・小樽笑店」の協力を得て、市民参加型の楽しいイベントとなった。また、午前と午後に分けて行った工作会にはたくさんの親子連れが参加し、講師指導のもと世代をこえた多くの人たちが、関わりを持ちつながりを深めながら楽しんでいた。</p> <p>外での遊びが制限される季節に、ゆっくりと自由に遊べる場の設定はとても喜ばれた。</p>
<p>2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度</p> <p>「木製おもちゃっていいですね」「時間を忘れてゆっくりと参加させていただいた」「楽しかったです」「このように小さな子どもを、自由に安全に遊ばせる場所があっていいですね」と、満足いっぱいの感想をたくさんいただいた。</p> <p>ボランティアスタッフからは「小さな子どもたちとのふれあいが楽しかった」「赤ちゃんからお年寄りまで、たくさんの人たちとの交流ができた」「企画や安全面への配慮など、今後の活動の参考になった」「小樽のまちが子育てしやすいまちになればいいですね」など、活気と展望ある意見や感想が寄せられた。</p>
<p>3. 今後の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の反省点や改善点を検証し、より計画的に準備をすすめる。 ・会場設営に労力を要したので、次回開催時は会場選びや設定の内容などを十分に検討する。 ・助成金に頼らず自立したまちづくり事業を運営していくためにも、会場内での物販などを試みてみる。 ・良質なおもちゃや遊びを通して、人と人とのふれあいが生まれ、地域で子育てを支え見守るまちづくりとなるような事業を展開させたい。 ・子育て世代の移住や人口が増え、小樽が元気なまちになることを期待し、住民ボランティアとの連携を深めていきたい。
<p>4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等</p>

